

「キンモクセイの実が来た！(2)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

(3) キンモクセイの実の特徴

キンモクセイの果実は非常に珍しい。理由は簡単で、国内にあるキンモクセイはほぼ100%雄株で、実のなる雌株は皆無に近いからだ。花の観賞と香りを楽しむことが目的のキンモクセイは、花の数が少ない雌株は好まれないのである。池袋のキンモクセイ並木に、なぜ雌株が混ざっているのか不思議だ。意図的に植えたとは思えないので、間違えて植えられたのだろう。

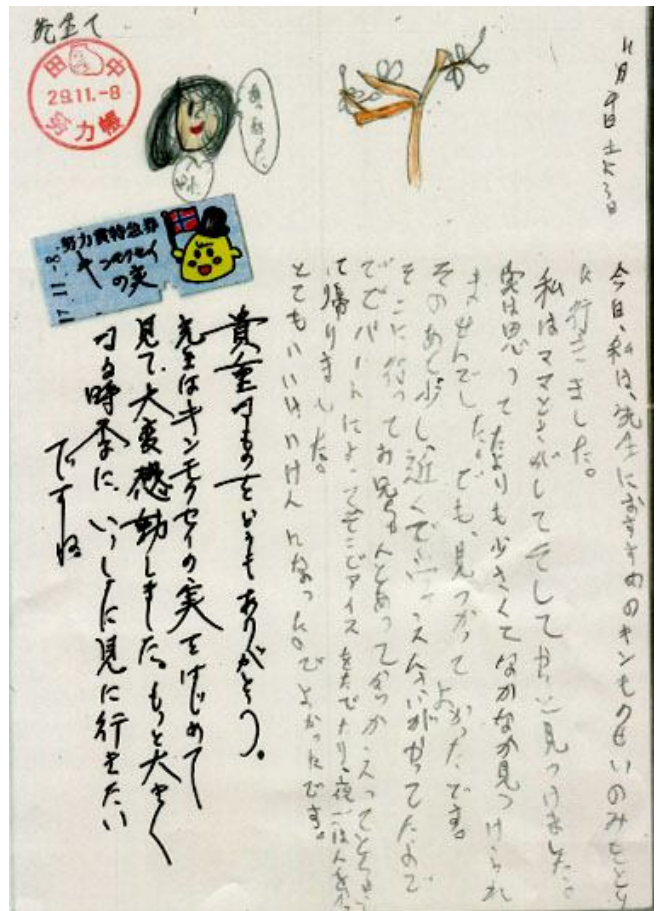


果実の表面には白い斑点状の模様がある。これはキンモクセイの果実の重要な特徴である。果実の一つを割ってみると、内部は中空で、まだ種子は見られない。



(4) 絵日記のキンモクセイ

実を持ってきてくれた翌日、この女兒から絵だより(絵日記)が提出された。



「今日、私は、先生におすすめのキンもくせいのみをとりに行きました。私はママとさがしてそしてやっと見つけました。実は思ったよりも小さくて(小さくて)、なかなか見つけられませんでした。でも見つかったよかったです。そのあと・・・」

キンモクセイ並木のたくさんの株の中から、雌株を見つけ出し、親子で一糸懸命に小さな実を探す姿が思い浮かぶ。冬に下の写真のように熟す頃、3年生の子どもみんな、観察しに行きたいと思った。



「池袋のキンモクセイ」(2017年冬) A氏撮影